

床検査医学講座)、薄井紀子教授(大学直属)、東條克能教授(内科学講座・糖尿病・代謝・内分泌内科)の略歴が紹介され、松藤千弥学長より長年の大学への貢献に謝辞が述べられ記念品を贈呈した。また、同窓会、保護者会、医学科学生会より記念品の贈呈があった。

退任記念講義終了後、退任される教授を囲んで退任記念パーティーを「東京プリンホテル2階マグノリアホール」にて開催した。会場には、教職員、同窓、学生など250名を超える参加があり、盛大なうちに会は終了した。

(2) 看護学科

I. 教学関係

1. 教学委員会

看護学科教学委員会は看護学科教学委員長1名、看護学科教学委員4名をもって構成され、教学委員会は定例として毎月1回開催されている。

教学委員は以下の通りである。

平成29年4月～平成30年3月

教学委員長 田中 幸子

教学委員 高橋 衣、嶋澤 順子、梶井 文子、細坂 泰子

2. 教学関連の主な事項

- ① 平成29年度は、1年生60名、2年生59名、3年生61名、4年生58名で新学期をむかえた。
- ② 平成29年度オリエンテーションは、4月4日から15日にかけて実施した。カリキュラムや学生生活上の注意などの説明、キャリア支援に関するシンポジウム、健康診断やカルト教団への注意を喚起する講演も平行して行なわれた。また、医学科新入生と合同で、スタートアップ研修や救急蘇生実習を行った。
- ③ 平成29年4月8日、学生が自身の知識獲得状況を確認し、今後の学習課題を明確にすることを目的に、2年、3年、4年生を対象に科目横断総合試験を実施した。
- ④ 平成29年5月6日、看護学科4年生と医学科5年生による、医療倫理に関する共修演習を実施した。
- ⑤ 平成29年6月24日、全学年の保護者を対象に、学生に関する情報交換会を実施した。
- ⑥ 平成29年6月28日、学生・教学委員・学生委員・カリキュラム委員合同会議を開催した。
- ⑦ 次の期間に定期試験を実施した。
 - ・前期 平成29年7月8日、平成29年8月18日～24日、9月4日～7日
 - ・後期 平成29年12月18日、平成30年1月29日～2月5日
- ⑧ 平成29年8月26日、25期生の「看護への思いを新たにする式」を、ご父母をお招きし、挙行了した。
- ⑨ 平成29年10月14日には学祖高木兼寛先生の墓参があり、学生代表が参加した。
- ⑩ 英国キングスコレッジロンドンと慈恵の間で行われる交換留学について、平成29年度は、9月25日～10月8日に4年生2名がセントトーマス病院で、10月30日～11月22日にKCLの2年生2名が第三病院と本院で臨地実習を行った。
- ⑪ 平成29年10月28日には解剖諸霊位供養法会が行なわれ、4年生が参加した。
- ⑫ 平成29年11月11日、4年生の看護研究発表会が行われた。
- ⑬ 平成29年11月17日、西口洋平氏による講演会「働く世代のがんと家族」を開催した。
- ⑭ 平成30年3月3日には医学科と合同の卒業式が西新橋で行なわれ、23期生56名、22期生1名の計57名が卒業し、慈大賞と同窓会賞がそれぞれ1名に贈られた。
- ⑮ 平成30年3月7日、兼担教員、非常勤講師を交え、講師会を開催した。
- ⑯ 平成30年3月4日～3月12日、3年生14名が米国オレゴン州ポートランドの看護研修に参加した。

II. 入学試験

1. 平成30年度入学試験は、平成30年2月10日に一次試験を、2月13日に二次試験を実施した。志願者数は、411名、入学者は60名、その内訳は次のとおりである。

- ① 女子 59名、男子 1名
- ② 現役 53名、1浪 7名
- ③ 地域別入学者数

北海道・東北地方	1名
東京および関東地方	55名
信越地方	0名
東海地方	0名
近畿地方	1名
中国・四国地方	1名
九州・沖縄地方	2名

- 2. 平成29年度オープンキャンパスは、平成29年7月22日と23日の2日間実施し、参加者数は549名(前年比+24名)であった。また、11月6日にミニオープンキャンパスも開催し、参加者は186名(前年比-99名)であった。
- 3. 受験生の確保を目的に、学外で開催された大学ガイダンス等に教員・学事課職員が参加した。
- 4. 高等学校2校(7月18日に都立府中高校35名、10月11日に田園調布学園高等部32名)へ訪問した他、12月12日に熊本第1高等学校40名、3月21日に新宿セミナー生(保護者含む78名)が本校に来学し、模擬講義を行った。
- 5. 受験生応援サイトをリニューアルした。

Ⅲ. 国家試験

1. 看護師・保健師国家試験

第107回看護師国家試験は、平成30年2月18日に、第104回保健師国家試験は、平成30年2月17日に実施され、その結果が3月26日に発表された。看護師国家試験は23期生56名、22期生1名が受験、57名全員が合格(100.0%)し、保健師は23期生19名が受験し、16名が合格した(84.2%)。

なお、全国の看護師国家試験合格率は91.0%、保健師国家試験合格率は81.4%であった。

Ⅳ. 学生生活アドバイザー

平成21年度より、学生生活をより豊かなものとするため、学習上や生活上の悩みを気軽に相談できる学生生活アドバイザー制度を導入した。1、2年生を対象とし、比較的若手の教員が5～6名の学生を担当し、前期・後期それぞれ1回の交流活動の他、適宜自由に活動を行なった。学生アンケートの結果は好評であった。

Ⅴ. 進路指導関係

学生への進路指導については、早期から担当教員が個別面談を実施するなど、きめ細やかに対応を行った。また、ナース就職支援室と協力し、分院の見学バスツアーを行うなど、慈恵への就職指導にも力を入れた。

平成30年3月卒業生57名の進路の内訳は、次のとおりであった。

本学附属病院への就職	37名
進学	3名
保健師として就職	1名
他病院就職	15名
その他	1名

(3) 大学院

1. 医学研究科医学系専攻博士課程

平成19年度より大学院改革を実施し、以後大学院の改善充実化を図るため種々検討を重ね、平成29年度は以下のとおり実施した。

1) 研究助成制度の運営

平成22年度の経常費補助金特別補助の大幅な見直しにより、大学院生に対する大学院研究助成金と大学院教員に対する医学研究科研究推進費の助成制度が廃止された。本学では研究の